

# もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名 島根県東部県民センター  
氏名 落合 祐作

派遣先団体名 NPO法人出雲スポーツ振興21

## ①研修の日時

平成25年 7月14日(日)	9:00~18:00
平成25年 7月28日(日)	8:30~18:15
平成25年 9月 6日(金)	8:30~18:00
平成25年 9月 7日(土)	13:30~22:00
平成25年10月14日(祝)	8:30~18:00
平成25年10月22日(火)	8:30~18:00
平成25年10月24日(木)	5:30~19:30

## ②研修の内容

### ●NPO法人出雲スポーツ振興21とは・・・

「スポーツ振興による地域づくり」というミッションを掲げ、平成12年3月24日に設立されました。元気な市民による元気な地域づくりを目指し、福祉・教育・文化・環境・産業など多分野での連携を、スポーツで結んで事業展開されています。

場所は出雲ドームの敷地内にあり、出雲ドームや県立浜山公園、及び出雲体育館などの施設管理も行っておられます。

●今回私が参加した研修は、主にイベントの準備、運営、片付けを行いました。イベントで共通することもあれば異なることもあり、いろいろと体験することができ、充実した研修となりました。



出雲ドーム



かみ・アリーナ(浜山公園)

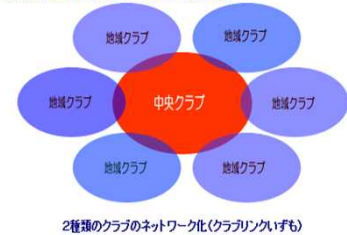


出雲体育館

## (1)地域スポーツの可能性・未来を探る 出雲研究大会

地域に密着した活動をとおして、健康で豊かに生きるために、地域スポーツクラブでの活動の可能性を追求するという趣旨のもとで、日本各地や県内のスポーツクラブの方々が参加され、講演の聴衆、意見交換等がありました。最初に参加した研修で、内容が難しかったのでこの先がどうなるか不安でしたが、「地域を元気にする」という目標は県職員として共通するところだと思うので、違う視点からの地域活性に向けた取り組みを勉強できる機会となりました。

●出雲地域における総合型地域スポーツクラブの展開構想



中央クラブ(市全域対象)

- 人の生涯にわたるスポーツとの関わり
- 地域クラブでできない種目への対応

地域クラブ(中学校区対象)

- 地域の文化・特性を活かす
- 地域コミュニティの核となる

## (2)第六回 四方綱引全国大会



綱引きは2チームでお互いに引き合い勝敗を決めますが、この四方綱引きは2本の綱を十字に合わせ、4チームが同時に引くというものです。力だけではなく、頭を使うところもあります。当日は小学生の部・女性の部・一般の部に分かれて試合があり、全部で82組の参加となりました。私は会場の準備、片付け、選手の招集や誘導を行いました。試合によってはすぐ決着がついて、次の試合に出る選手招集に慌てることもありましたが、周りの職員の皆さまや選手の方に助けられ、進行することができました。

左の写真は試合中の様子です。少しわかりにくいかもしれませんが、下の2チームが負けないよう、接近して引っ張っています。しかし、上の2チームに負けたようです。引っ張る範囲が決まっているなかで、試合展開により他チームと協力することもあり、頭脳も必要とされました。

## (3)出雲ドーム 2000人の吹奏楽

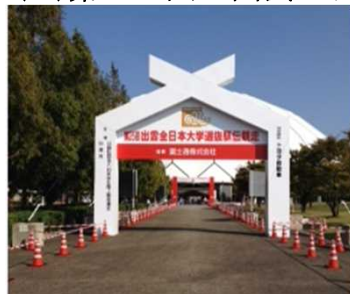
ご存じの方も多いかと思いますが、例年出雲ドームで開催されるこの音楽祭の準備と運営支援、及び片付けを行いました。

準備では、グラウンドの清掃や看板位置の調整などを行いました。演奏する方が少しでも歩きやすいように、野球で使用されるベース回りにかぶせたシートと、グラウンドの接地面の段差を少しでもなくすための整備に、力をいれました。

演奏中はドーム内の見回りを行っていました。直接、その様子をゆっくり見ることはできませんでしたが、聞こえてくる演奏に耳を傾けて、聞き入ってしまうこともありました。



## (4)第25回 出雲全日本大学選抜駅伝



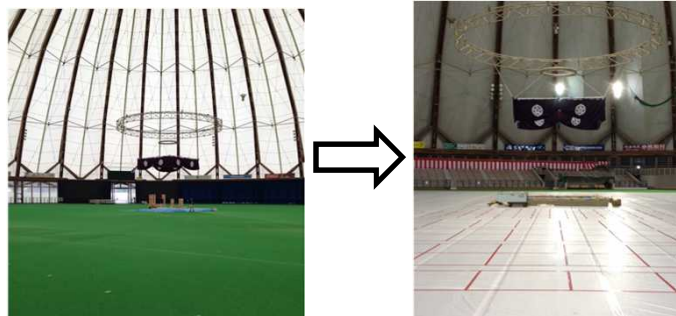
全国三大駅伝の一つ、出雲駅伝の準備等に携わりました。レースが始まる前の、各中継地点において設置されている、選手用のテントの状況確認に回りました。各中継地点ではテレビカメラのセッティングが行われ、それぞれの場所で緊張感が伝わってきました。左の写真はゴール地点です。異物が落ちていないか、その他異常がないか、見回りも十分注意して行いました。

右の写真二枚はゴール付近で応援する大学の応援団です。太鼓の音や応援団の声が大きくて、力が入っている様子が伝わってきました。



## (5)大相撲 出雲場所

3年ぶりに出雲ドームにて開催されました。事前準備、運営、及び片付けを行いました。準備では特に、「マス席・タマリ席」の準備が大変でした。目印となる地点を決めて、白く長いシートを貼り、席を作っていくのですが、糸を張ったり養生テープを貼ったりで、作業がたくさんあり、あっという間に時間が過ぎました。



取り組みが行われている間は、座布団の販売に携わりました。日ごろの業務とは違い、大きい声を出し、一枚でも多くの座布団が売れるようにガンバリました。



段ボールの中に、座布団が入っています。



開催前の土俵です。



取組前の様子です。

## ③研修の感想

全7日間の研修でしたが、すごく内容の濃い7日間でした。

研修前にあった不安は、出雲スポーツ振興21の職員の皆さまが親切・丁寧に教えてくださったことと、各イベントでの忙しさによって、いつの間にか無くなっていました。研修後には「もう終わってしまうのか」と寂しい気持ちがありました。

研修の多くは各イベントの準備、運営、片付けの時間でしたので、イベント前までの企画立案や調整、イベント後の反省点や今後の課題等はわからないところもありました。しかし、共通して思ったことは、見えないところでたくさんの方の協力なくして、成功はない！ということです。仕事でもその他のことでも、目的を達成するまでの過程が非常に重要だと、研修に参加して改めて思いました。

研修の合間では、NPO法人の事務局長から、出雲スポーツ振興21の基本概要や事業内容等の講義をしていただきました。この講義時間に限らず、職員の皆さまからもいろいろと教えていただきました。

今回の研修で今までの社会人生活を振り返って見直すこともできましたし、いろいろな方(NPO法人の職員の皆さま、イベントに関わったボランティアの皆さまなど)に助けられ、研修を終えることができました。今後は研修で勉強させてもらったことを一つでも多く実践し、伝えていけるよう努めたいと思います。

出雲スポーツ振興21の職員の皆さま、ありがとうございました。

## ④その他特記事項

・限られた日数のなかで、かつ職場等の状況も分からないところへ研修に行くので、何事も積極的に行動することが必要ではないかと思います。(自分自身、できたかというと・・・)

・最後に、短期派遣研修に参加させてもらい嬉しかったです。違う職場で勉強できたことは、貴重な体験となりました。人事課の皆さま、職場の皆さま、ありがとうございました。